



# 青少年教育センター だより

〒857-0056 佐世保市平瀬町3番地1 Tel 22-0781

## ◇夏休みが終わる学校に合わせて、 あすなろ教室(学校適応指導教室) も再開しています。

令和3年10月号 No.510号



9月1日(水)、あすなろ教室の前期後半の開始にあたり、近藤所長から通級生へ講話を行いました。紹介します。

コロナの感染状況が厳しい中に、本日ここに一回りたくましく成長し、元気な姿で通級して顔を見せてくれたことをうれしく思います。

今年は、夏休み期間中に東京オリンピック、パラリンピックが行われました。1年延期となり、直前まで開催が危ぶまれていましたが、紆余曲折を経て開催となり、日本人をはじめ各国の選手の活躍をテレビ等で観戦した人も多いと思います。メダルをとった選手や出場した選手のインタビューでは、必ずと言っていいほど、「これまでに支えてくれた人たちへの感謝」を言葉にしている、その謙虚さこそが、ひたむきな努力を生み、オリンピックという大舞台での活躍につながっていると感じました。人が生きていく上で、「支え」になるものの存在はとても重要なことだと再確認しました。

さて、前期前半の最後の日(7月20日)の話を覚えていますか。私は、夏休みに5つのことに取り組んでほしいとお願いしました。1つ目は、「命を大切にして新しい生活様式による規則正しい生活をする」水の事故や交通事故に注意し、新型コロナウイルス感染症にかからないように、ソーシャルディスタンス、マスクの着用、手洗いなど、また、早寝、早起き、朝ご飯など生活のリズムにも気を付けてください。2つ目は、「何か1つ家族の役に立つことをする」家族の一員として家の手伝いなど自分からしっかりと役割を果たしてください。3つ目は、「学習にもしっかりと取り組む」30分でも1時間でもいいから、毎日学習を続ける。基礎基本を中心に、やれる(分かる)ところから取り組んでください。4つ目は、学校復帰や社会的自立を目指し、これからの自分を考える特に中3は進路も含めてよく考えてください。必ず親と相談をしっかりとってください。5つ目は、「読書、必ず1冊本を読む」マンガではなく、ちゃんとした本を読んでください。本との出会いで考えが変わることもあります。

5つのことをしっかりできた人もいれば、そうでない人もいますが、時間は待ってくれません。夏休みモードから、生活のリズムと心を整えて、切り替えてください。

せっかくの機会なので今日は、五感を使うことの大切さについて少し話をします。五感ということばは知っていますか。「味覚」「臭覚」「視覚」「聴覚」「触覚」と言われる五つの感覚のことです。皆さんは、この五感を意識して使っていますか。

京都大学総長の山極寿一氏は最近の著書『スマホを捨てたい子どもたち』の中に、「信頼関係をつくるのはことばではありません。ことばは代替物であって、信頼関係へのリアルな架け橋になるのは、それ以外の五感の中、正しくは五感を感じられる身体の中にあります。フェイスブックやライン、ツイッターを駆使して、どこかで他人とつながろうとする。でも、身体につながりなくして、本当につながることができません。本当に信頼できる人とのつながりをつくるには、時間と空間を共有し、五感を使った付き合いをする必要があります。」と書かれています。友達と仲良くなるには、ことばだけでなく、五感を使った付き合いも大切だということです。

また、学習についても五感は大事です。東京大学名誉教授の佐藤一子氏は「五感力は、生涯学習の基礎・基本」とも言われています。これは、皆さんが学習するときに必要な学習意欲であるとか、考える力とか「非認知能力」と言われる学力を育てるのに、五感を使うことが必要だと考えられるからです。

五感を使うというのは、そんなに難しいことではありません。皆さんも、普段から使っています。それをちょっと意識してみると、また違ったことに気づくこともあると思います。例えば、ここに通級するとき、どんな音がありますか、どんな匂いがありますか、街路樹の色から季節を感じることもあるのではないかと思います。また、工事の音から、危険な場所に気づくこともあるでしょう。そのように五感を意識して使うことを繰り返すと、きっと皆さんの学習や友達との関係も変わってきます。スマホやパソコンを頼りするばかりでなく、自分の感覚をもっと研ぎ澄まして活用するようにしたらいいと思います。

まだまだ残暑も厳しいと思いますが、9月後半から10月にかけて、勉強とスポーツ・文化に最適な季節になります。それぞれの自分の目標に向かって努力し、コロナの終息がなかなか見えませんが、新しい生活様式を意識しながら充実した前期後半になることを期待して私の話を終わります。一緒にがんばっていきましょう。

## ◇あすなろ教室(学校適応指導教室)体験活動

9月7日(火)の午後からは、美術活動と題して「絵手紙」を作成しました。通級生は、雑誌や図鑑の絵や、学校から支給されているタブレットを用いてネット検索したものを参考にしながら、丁寧に描いていました。和気あいあいとして楽しみながら、それぞれに個性溢れる作品を仕上げていましたので、その様子と作品を紹介します。(写真参照)



9月9日(木)の午後からは、卓球大会を計画し、実施しました。通級生の中には運動を苦手とする人もいるので、みんなが楽しめるように、ラケットにボールを乗せ卓球台を周回して渡すリレーや、ラリーの回数を競う種目など、内容を工夫して実施しました。活動中は、自然と笑顔が出たり、プレーに一喜一憂する声が響いたり、職員と通級生とで交流が深まった様子でした(右下の写真参照)。コロナ禍で活動が制限される中での活動でしたが、楽しそうに活動していて嬉しく思いました。



## 11月の地区別補導委員連絡協議会

地区名	開催日	地区名	開催日	地区名	開催日
早岐	4日	清水	2日	大野	2日
日宇	4日	光海・愛宕	1日	吉井・世知原	4日(世知原)
福石・山澄	2日	相浦	1日	小佐々	4日
祇園	2日	中里	1日	江迎・鹿町	2日

